

## A 1 2 生産計画と工程管理

### 【概要】

多品種少量化や短納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得する。

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 名古屋事務所  
(名古屋市中区錦1-10-1 MIテラス名古屋伏見5階)

講師：松村 佳洋 (一般社団法人中部産業連盟)

### カリキュラム

■ 工程管理の考え方 《3h》	<u>ものづくりを取り巻く環境変化</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・大変革期をどう勝ち抜くか</li><li>・利益 = 売上 - 原価</li><li>・変化に対応する</li></ul>
	<u>生産性向上</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産性とは</li><li>・生産性向上の着眼点</li></ul>
	<u>改善の着眼点</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・問題発見、問題解決能力の重要性</li><li>・改善マインド</li><li>・ムダの考え方</li></ul>
	<u>演習 ～動作改善～</u> <p>「模擬ライン(VTR)による動作改善」 VTRによる模擬ラインでのものづくりを分析する。講義で学んだ動作改善の着眼点を中心にムダを抽出して、現状の「当たり前」を疑い、業務の中で視点を変えるだけで改善できることを学ぶ</p>
■ 生産計画の立案 と作成手順 《3h》	<u>生産管理の基本的な考え方</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産管理のあるべき姿</li><li>・受注の取り方 (受注生産or見込み生産)</li><li>・生産の形態 (個別生産、ロット生産、連続生産)</li><li>・ものづくりで重要な4つの「時間値」とライン能力の関係</li></ul>
	<u>生産計画の立案</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・需要予測に基づく生産計画</li><li>・生産能力に合わせた負荷計画</li><li>・在庫管理と生産リードタイムの関係</li><li>・一般的な生産の問題点</li><li>・多品種少量生産の課題</li></ul>
	<u>演習 ～造り方で原価は変わる～</u> <p>「生産計画におけるロット生産と平準化生産の違い」を専用のキットを使い、ロットでものを流した場合と平準化 (1個ずつ) でものを流した場合の違いを「納入個数」「収益」「原価」「顧客満足度」の4つの観点で検証する</p>